

Daigasグループの4つの価値創造の軌跡

Daigasグループは2017年3月に「長期経営ビジョン2030」を策定しました。

長期経営ビジョンで掲げた2030年度に目指す姿の実現に向けて、企業理念のもと「お客さま価値」「社会価値」「株主さま価値」「従業員価値」の4つの価値創造を実現してきました。

これまでに創造してきた価値



お客さま価値の創造

様々なフィールドでお客さまの快適・便利・安心の向上に資するサービスをともに創り上げ、お客さまの期待に応え続けます。



お客さまアカウント数

2017年度 827万件 → 2024年度 1,071万件

お客さま満足度^{※1}

13年連続 90%以上

様々なフィールドで お客さまの期待に応え続ける

Daigasグループは、お客さま満足度を高い水準に維持し、信頼関係を構築することで社会資本を強化してきました。

また、人的資本・知的資本を生かして事業領域を拡大し、通信、リノベーション、宅配冷蔵食サービスなど、お客さまのお役に立つサービスをご提供することで、お客さまとの接点を増加してきました。

今後もさらに多様化するお客さまの価値観に応じた新サービス・新ビジネスを創出することで、お客さまアカウント数を拡大し、財務資本の強化につなげていきます。

^{※1} 開栓、機器修理、機器販売（施工付き）、定期保安巡回（ガス設備調査）、電話受付（お客さまセンター）の5つの業務に対する満足度調査の結果



社会価値の創造

事業活動においては公正と透明性の確保に努め、社会の持続的発展と地球環境の改善に貢献します。



耐久性に優れたガス管（ポリエチレン（PE）管）の普及促進^{※2}

2017年度 PE管延長 15,900km → 2024年度 18,600km

CO₂排出削減貢献量

2017年度 61万t-CO₂ → 2024年度 629万t-CO₂

安全・安定的なクリーンエネルギーの 供給で持続可能な社会に貢献する

Daigasグループは、社会インフラを担う事業者として計画的なガス導管網の整備・強化により、安定したエネルギー供給を実現してきました。インフラのレジリエンス^{※3}を高めることは、安定的な事業の継続にもつながります。

また、エネルギー事業を中心とした当社グループにとって、カーボンニュートラル社会への貢献も重要です。足元のトランジション期の取り組みとしては、天然ガス発電所建設等の製造資本を強化するとともに、重油などから天然ガスへの転換等により社会全体のCO₂排出削減にも貢献しています。将来に向けては、既存のガス機器を利用できるe-メタンの導入により、シームレスなカーボンニュートラル社会への移行を目指します。

^{※2} 阪神・淡路大震災当時（1995年）PE管延長 約1,200km

^{※3} レジリエンス（resilience）：元々「回復力」「弾力性」「適応力」などの意味を持ち、ビジネスの分野では、「困難を乗り越えることが可能な回復力や適応力」を指す

これまでに創造してきた価値



株主さま価値の創造

健全な財務基盤のもと、長期的かつ安定的に成長し、企業価値の最大化を図ります。



経常利益

2017年度

770億円 → 2024年度 1,896億円

ROE

2017年度

3.8% → 2024年度 8.2%

ROIC

2017年度

4.0% → 2024年度 5.4%

 安定的に成長し、
企業価値を最大化する

Daigasグループは、株主さま価値の向上に向けて、利益向上と自己資本のコントロールを図ることで、ROEを向上していきます。そのためには、安定的な利益水準の維持とROIC経営の推進が不可欠です。

安定した利益により健全な財務基盤を維持することで、持続的な成長のための積極的な投資を可能にします。

また、ROIC経営を行うことで投下資本に対する利益を最大化していきます。これらを通じ、株主さまへの還元を強化することで、企業価値の向上を図ります。



従業員価値の創造

従業員の様々な個性を尊重し、みながやりがいを持って仕事に取り組み成長できるようサポートを行います。



制度の充実

- テレワーク(在宅勤務・サテライトオフィス)制度の整備
- フレックスタイム制度・時間単位有給休暇制度の導入
- 育児・介護休業制度の拡充
- 仕事と治療の両立支援 等

従業員意識調査

2024年度 総合指標を適正水準に維持※1

男性育児休業・育児目的休暇取得率※2

2017年度

88.8% → 2024年度 94%

女性管理職昇格比率※2

2017年度

9.4% → 2024年度 18.2%

 多様な価値観を持つ人材が
活躍できる企業へ

Daigasグループは、従業員価値を向上することが、ほかの3つの価値創造の基盤となると考えています。そのため、経営戦略に必要な人材の育成や、カーボンニュートラルに関する技術開発やDX推進の担い手を早期に拡充するための専門性の高い人材の獲得を進めています。

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進の進捗や、従業員への意識調査によるロイヤリティ、満足度等の水準を確認しながら、各施策を充実させることで、より働きやすい環境を実現し、企業の持続的成長につなげます。

※1 会社に対する現時点の満足度を表す「総合満足度」を総合的な評価指標とし、大阪ガス、関係会社において世間水準よりも高いことを確認

※2 対象範囲：大阪ガス